

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ ひるがみ温泉株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別はない。 深夜勤務や力仕事などは、個人の適正・意向を見極め対応している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントについては、禁止する旨就業規則に規定している。 また会議や研修などを通じ、各人の意識を更に高め、相談にも努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・過度な長時間労働の防止のため、以下の通り取り組んでいる。 ①襷掛け勤務を減らすためのシフト調整②マルチタスク化③休日の増加・有給消化等 【予定】更に以下の取り組みを検討する。 ①中抜け勤務の削減②勤務内容によっては体制の2部制③労働時間の見直し④スタッフの増加等								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・R6年外国人労働者雇用を開始。雇用条件を含め、差別・人権侵害にあたる要素は皆無である。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・安全で衛生的な労働環境の整備のため、以下の通り実施している。①定期的な衛生講習会への参加②設備の定期的修理・更新・新設③防災訓練の定期的な実施④専門業者によるガス・電気・エレベーター等の定期点検等 また、社内にて「安全衛生推進」係をおき、主体的取組と			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・先輩や上司などへの相談機会があり、各人のプライバシーを尊重する社風にある。従業員休憩スペースの整備、従業員の相互理解を深める為、親睦会を年2回以上実施。 上長・社長・第三者による面談機会も導入している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・多様な人材が活躍しており、当館発行の季刊誌「四季便り」で毎回紹介している。 ・パート社員については、希望の勤務時間を優先し、活躍の場を設けている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・必要に応じ、外部講師による研修を実施するなど、社内外問わず定期的に研修の場を設け、従業員教育に取り組んでいる。 ・経験に応じた資格取得やセミナーの機会が用意されている。 ・不定期ではあるが、チーム制の目標を設定し、能力開発・訓練に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応。月一回全社員参加のミーティングを実施 ・雇用形態に応じメリハリある責任分担を設けている(社					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・定期的な健康診断・保健師による指導、インフルエンザなどの予防接種を行っている。 ・感染症対策として、従業員の体調管理・検温・手指消毒など、感染防止対策を徹底している。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・食材や資源のロス削減により、廃棄物の排出抑制に取り組んでいる。 ・廃棄物の分別徹底、適正処理業者の選定により環境負荷低減に努めている。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・電気使用量の可視化により、使用量削減に努めている。 排出量を全体ミーティングで共有し、抑制策について議論している。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・電球・蛍光灯のLED化による温室効果ガスの排出抑制を更に進める。 ・排出量を全体ミーティングで共有し、抑制策について議論していく。						7.2 7.3					12.4	13.3					

14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)		・現状、法令で規制されている有害化学物質の使用はない。 【予定】今後もこれらの使用がないことを全体ミーティングで随時確認していく			3.9			6.3						11.6	12.4						
----	--	------------	--	---	--	--	-----	--	--	-----	--	--	--	--	--	------	------	--	--	--	--	--	--

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・ゴミの分別やリユースの徹底により、生物多様性に配慮している。						6.6									15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・海洋汚染につながるプラスチック製容器包装への対応として、使い捨てプラスチック使用の削減等を推進している。 ・分別や再利用の徹底により、3Rを推進している。										13		14.1						
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・水資源の利用効率向上のため、厨房での水道水利用は特に工夫し、使用量抑制に努めている。 ・水道の利用量は毎月の会議で共有している。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)	【非該当】		・認証取得予定なし				3.9		6	7						12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	【予定】長野県SDGs推進企業登録を契機として、必要に応じ取り組みを検討する。													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	【予定】今後、再生可能エネルギーの利用を検討する。							7.2							13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・食材をはじめ、あらゆる面で持続可能な調達に配慮している。													12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・汚職・贈収賄の禁止方針について就業規則に明記している。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・行動規範を整備し、会議等で周知している。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・行動規範を整備し、会議等で周知している。							8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・個人情報取扱規程を制定し、適正な取り扱いについて定めている。 ・上記のほか、コンプライアンス規範に基づく顧客情報の取扱いを徹底している。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		・取扱いなし																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	【予定】現状特段の問題はないが、今後必要に応じ取り組みを検討する。					5		8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	宣言の内容については、地域企業との共栄共存を理念としており、共感がある。制度の趣旨理解を深め、検討。			3				8	9	10								17	

項目番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・料理に関しては、HACCP基準に沿った衛生管理を徹底している。 ・休館日を利用して定期的にサービス・館内設備等の点検を実施し、安全性の確保に努めている。			3.9									12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・顧客アンケート結果は、定期的な全体ミーティングで共有し、サービスの改善に繋げている。また、個別リピート時にも活用している。 ・食品に関しては、HACCP基準に沿った衛生管理を徹底している。 ・接客サービス部はおもてなし検定受験により、お客様対応力の向上を図っている。 【予定】料理提供スタッフは全員、和食検定基本レベル1級を取得する。								9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	【予定】長野県SDGs推進企業登録を契機として、今後取り組みを進める。						6						12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	【予定】長野県SDGs推進企業登録を契機として、今後取り組みを検討する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・館内にお雛様や風鈴を飾り、地域の方にも気軽に当館へお越しいただいている。 ・「二千体の雛飾り」や「七夕風鈴」で外来客を迎えている。 ・地域の小学生への地域の伝統行事の研修授業を行っている。					4				9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・地元小学生とイベントを開催している。 ・地域のグリーン作業に毎月参加している。 ・能舞台では地元の伝統芸能を披露している。 ・温泉郷(地域)の取り組みには積極的に参加している。 ・地域の就業体験にも積極的に協力している。					4						11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・料理は地元産の米や野菜を積極的に使うことで地産地消に努めるとともに、地元の食材の良さを伝えている。 ・地域の観光資源である星空観賞を積極的にPRしている。 ・地域生産者との会合や研修にも参加し、関係性を構築している。								8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			・毎月開催される全体ミーティングにおいて経営理念・経営目標を全員で復唱することにより、スタッフ間の意識の共有を図っている。								8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・行動規範を整備し、会議等で周知している。																	16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・SDGs推進チームが中心となり、体制を整備を進めている。																	16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			・お客様・地域社会・仕入先等との対話により、自社の及ぼす影響について把握し、必要に応じ適宜対応している。																	16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・災害等を想定し、防災訓練・消防訓練を定期的に行っている。																		16
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・当社の経営方針はCSRの理念を含んでおり、全員で取組み、これを実践している。																		16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・災害を想定した避難訓練を定期的に実施している。									9		11		13 13.1					16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・サステナブルを意識した組織体制構築を図っている。								8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定